

社民党

渡辺みのる通信

● 第 5 号 ●

発行日 / 2008年(平成20)10月(9月議会号)
 発行 / 渡辺みのる後援会
 石川町大字北山形字引地 1
 電話 & FAX 0247-26-6994
 携帯 090-2798-0434



写真説明 10月はじめ、刈り取りの進む田んぼに下りると、黄金色の風景が一面に広がる。竹ぐいに羽を休めるトンボを見つけて、パチリ（大字谷沢地内）。

実りの秋に感謝

2年目、さらなるご支援を

10月初旬、夕方になると肌寒く、一面の黄金色の稲穂が、次々に刈り取られていきます。秋本番です。高い山では紅葉が見ごろでしょう。

5月に田植え、5ヶ月後には、米になる成長の速さに驚かされます。同時に、有難く思います。

私も9月議会から、皆さんに支えられて、2年目に入ることができました。本当にありがとうございました。

9月議会の一般質問は「自主運営になって4年目の地区公民館の今後のあり方」、「千五沢ダムの改築と河川改修に対して町の意見を出すべき」、「高田桜、町内の桜の保存と活用」について、町長の考え方を質しました。

9月議会は決算議会と言われるように、平成19年度の決算書が審議され、原案通り認定されました。

日ごとに寒さが増してきます。健康の管理には充分留意しましょう。

野菜作りの知恵に感動

蒔く時期を数回に分けて播種

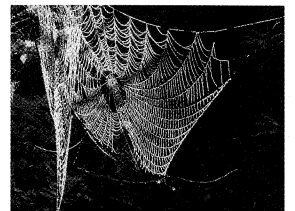
先日、勤めながら、農家の庭先の畑仕事に精を出している友人から、季節外れのとうもろこしやブロッコリーをいただきました。

私の家も、母が野菜作りに専念して、食卓に上るほとんどの野菜は自家製で、新鮮ですが、今の時期にはトモロコシはありません。

聞いてみますと、時期をずらし数回に分けて播種しているとのこと。これには驚きました。

春野菜、夏野菜、秋野菜と、播種時期にこだわっている母をみると、発想の転換に感動させられます。もちろん、美味しくいただきました。

芸術の秋、畑の隅にある小さな虫による、朝日に輝く、白糸の芸術はいかがですか。



9月議会的一般質問から

渡辺：地区公民館を今後どのようにするのか？

町：地区民と話し合い、4月から体制及び事業運営を見直す

質問

4年前から地区公民館が自主運営になり、館長1人勤務になりました。本町の公民館は昭和21年、県内第1号、憲法発布記念事業として設置され、輝かしい活動があり、文部大臣表彰も受けています。



自主運営になって、館長さんなどの活躍が多くあったと思いますが、町はどのように考えているのか、そして、現在の課題がなにか。さらに、今後、どのようにするのか、伺います。

答弁

館長や事務補助員さんの活動、それを支えてくださった方の応援があったればこそ、今があると認識し、感謝しています。

課題は第一に運営体制が充分はかれなかったこと、第二は運営委員会の機能が充分発揮できなかったこと、第三は時代に対応した活動ができる運営を支援できなかったことが挙げられます。

平成21年4月から実効ある体制及び事業運営の見直しを提示していきたい。

質問

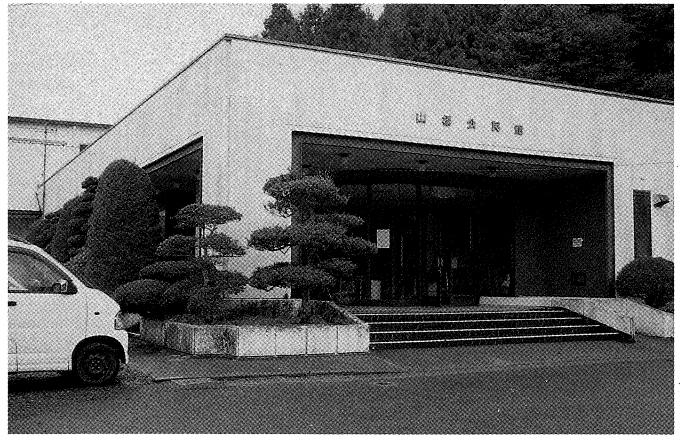
これからの方針を決める場合、館長や地区の皆さんと充分話し合い、方向が押し付けにならないように。

更に、社会教育法の公民館として残していく考えがあるのか、伺います。

答弁

館長や地区の方々とは論議し、押し付けにならないように、納得の行く形で組織をつくっていきます。

又、地区公民館が一番身近な学習の場であり、社会教育法上の内容は残していきます。



地域学習の拠点である地区公民館(山橋地区公民館)

渡辺：高田桜・ソメイヨシノの保存を
町：今年度から年次計画で実施

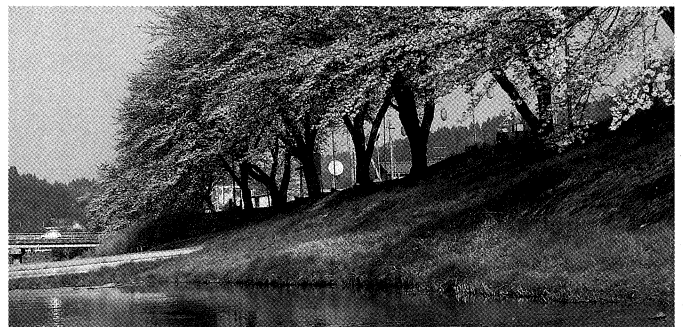
質問

近年、町の桜はきれいで観光客も多くなっています。高田桜及び河川敷の桜の保全と活用の考え方を伺う。

特に、ソメイヨシノは寿命80年と言われていますが、すでに60年、保存が大事になってきています。又、町民や民間団体との連携の考え方を伺います。

答弁

高田桜は今年度から樹勢回復調査を実施し、対策を講じています。ほかの桜も、今年度から年次計画で対策を進め、百年の町民運動と考えています。



今出川の桜並木(双里地内)

これで良いのか! 「原発維持基準」を
事実上容認する県議会

県議会は、今年9月、今まで反対してきた「原発の維持基準」導入を認める見解を県に提出しました。導入の議論がはじまることとなります。

維持基準とは、配管等にひび割や亀裂が見つかった場合、一定期間後にどうなるかを予測し、強度が安全基準を上回る場合は運転を続け、下回った場合は修理交換を行うというもの(現在はすぐに運転を止め、交換修理を行っている)。

電力会社の原発稼働率の向上、電力生産コスト低下のため、要請を受け、国が認めているもの。

福島第一原発は、運転から37年目で、水漏れ、放射能漏れが頻発している老朽化原発です。

会社の金儲けより、県民の安全性を優先させてほしい。

「原発維持基準」導入に
慎重な対応を求める請願

採択、9月26日、
県知事に意見書を送付

9月議会は、社民党石川総支部、石川地方平和と民主主義を守る会、勤労者協議会連合会から出された「原発の維持基準導入に慎重な対応を求める請願」を採択し、9月26日佐藤雄平知事に意見書を送付しました。

一般質問から

渡辺：ダムの改築で、水質改善と治水機能の向上を
町：県に、町の意見を出す、
昭和41年9月の基準は検討

質問

今出ダムが中止なり、県は千五沢ダムの改築と河川の改修を行うことになったが、この機会に町として、県に、治水機能の向上と水質改善の観点から意見を出していくべきと思うが考え方を伺います。

県が示す「昭和41年9月の洪水に対応できる対策」が、最近の集中豪雨や過去の雨量などから見て、大丈夫なのか。評価する考えがあるか伺います。

答弁

水質改善は上流と協議し、県も活用し、対策を検討します。取水場所の変更も検討したい。

洪水に万全を期するため、早期着工を要請していく考えで、意見を出していきます。昭和41年9月水害の基準の評価は検討します。対策として、ダムの改築と自動車教習所付近及び今須橋から五里石付近までの改修が計画されています。



8月15日、横山川で開催されたますつかみ大会

依然厳しい町財政
国からの税源移譲で町税増

3年間の一般会計歳入と歳出状況は次の通りです。

歳入 単位：千万円

年度	町税	交付税	国支出金	町債	その他
17	160	234	28	38	163
18	161	228	18	28	160
19	174	236	15	24	187

歳出（性質別） 単位：千万円

年度	消費的経費	投資的経費	その他	計
17	376	72	159	607
18	368	44	173	585
19	373	38	209	620

その他では公債費（借金償還金）が多い。

平成19年度決算の概要

一般会計で1億8千4百万円を繰越

～一般及び8特別会計の決算を認定～

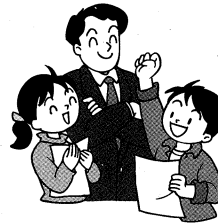
9月18日から26日まで開かれた9月定例会で19年度の決算など24議案が提案され、原案通り、認定及び可決されました。

一般会計では歳入額63億8千7百万円、歳出額62億2百万円で、1億8千4百万円が20年度に繰越されました。

子どもの未来のために ④

＝「中山」発言に思う＝

子どもたちを再び、
戦場に送らないために



教育現場では、子どもたちの人間形成をめざして様々な活動が行われている。教室の子どもたちの反応に一喜一憂し、試行錯誤の毎日を過ごし、勤務時間が終われば、今度は生活主

体者としての役目を負う。日教組は「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンのもとに戦後教育を担ってきた。教育研究集会で学び、仲間同士助け合い、子どもたちに寄り添って共に学んできた。「助け合う」「学び合う」「主張する」などの教師の姿は子どもたちへのメッセージになったはずである。

戦後教育の問題は、競争と序列化をあまり、画一化や統制を推し進めた国の教育行政にある。

今、教職員は「免許更新制度」や「目標管理制度」によって、国に絡めとられようとしている。

一方、修身や国史が支配した戦前の教育を懐かしがり、戻そうとする輩がいる。「それはおかしい」と、誰が声を上げるのか。一人二人では届かない声も、何万人となれば無視できなくなる。人間らしく生きるために、子どものために、仲間と手をつなぐ意義はここにある。

中山発言を支持する者にとっては、「政府のやり方に異議を唱える者」「子ども側に立つ者」「仲間をつくる者」は目の上のたんこぶである。

中山発言を擁護する者、もしくは他人事として、そしらぬふりをする者が増えるのであれば、日本の教育は、大きな歯止めを失うことになる。



9月議会で可決・同意された主な内容

1) 実質公債比率22.5%、 将来負担比率108.7%

今年度から、町財政の健全度を示す指標を議会に報告することになりました。

実質公債費比率は公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模で除したもので、25.0%以下なら健全。将来負担比率は、将来負担額から基金等を控除し、標準財政規模で除したもので、350.0%以下なら健全。夕張市の破綻を受けて、一部事務組合や第3セクター等の会計も対象になりました。

2) 簡易水道条例の一部を改正する条例 給水区域に 「南山形字中野沢の一部」を追加

これにより、水不足で困っていた特別養護老人ホームさくら荘に給水が可能になりました。

3) 県中地域水道用水供給企業団規約の変更 規約に「解散に伴う事務の継承」を追加

今までの規約に、「第13条、企業団の解散に伴う事務の承継については、構成団体の議会の議決を経て行う長の協議をもって決める」を追加しました。



特別養護老人ホームさくら荘（南山形字中野沢）

4) 工業用地、103,469㎡を取得

町の工業団地造成のため、沢井字藤沢地内に10万3千平方メートルを83,378千円で取得することになりました。

工場誘致実現に向け、取り組みを強化していくことが、大変重要です。

5) 教育委員に橋本裕美子さん、鈴木信教さん

新しい教育委員、橋本裕美子さん（山形字大豆久内）と鈴木信教さん（母畑字七森）の任命に同意しました。学校統合や公民館のあり方など、教育課題が山積みしていますが、ご活躍をお祈りいたします。

千五沢ダムの水質は…改善の兆しなし、町民の飲み水改善を最優先に

流入河川の負荷状況は

ダムに流入する河川は5本あり、主な3河川の流入量と負荷の状況は次の通りです。

単位：mg/ℓ

	北須川	平田川	東川
流量割合	51%	22%	13%
BOD	1.3	1.2	2.9
全窒素	1.50	0.85	1.70
全磷	0.043	0.030	0.122

(平成18年度町水道事業所調べ)

ダムの水質基準はCOD3mg/ℓ以下

全窒素0.4mg/ℓ以下、全磷0.03mg/ℓ以下

千五沢ダムの水質基準は平成10年に環境庁告示で、同13年に福島県告示で、定められました。しかし、達成できないため、暫定目標値が定められていますが、現在、それさえクリアできていません。

CODとは

湖沼の有機物を酸化分解するのに必要な酸化剤の量を酸素の量に換算したもので、数値が大きいほど汚れがひどいことになります。

専門的調査と 継続的な対策が必要

ダムの水質調査は、1981年（昭和56）から県によって毎年行われています。CODの数値は上昇を続けていますし、全窒素や全磷も高濃度が続いています。

水質の経年変化(上層)

	COD	全窒素	全磷
基準値 (暫定値)	3mg/ℓ 以下(5mg)	0.4mg/ℓ 以下(1mg)	0.03mg/ℓ 以下 (0.052mg)
昭和62年	4.9	0.9	0.04
平成17年	5.2	1.1	0.047
平成18年	5.5	1.2	0.063

(福島県水質年報)

平成18年度の県内湖沼の水質調査では、千五沢ダムが高濃度トップになっています。

年報では、汚染原因は家畜系の排水ほか、生活排水や自然に由来し、流入する汚染負荷の低減が必要。底泥からの窒素、磷の溶出の傾向もあると述べています。